

思い通りいかないときは…

小学生の息子が、3月末に離任する先生から、イラストで描かれた素敵なメッセージを頂きました。

その中の一つで一番心に残った言葉を紹介します。



『思い通りいかないときは、感謝がたりてないんだよ』

年度初めや終わりは、何かと忙しくてバタバタしがちです。

ましてや、入園や新たな環境で働くことなど、節目にあたる場合は、自分自身の心にも余裕がなくなることもあります。今まで、うまくいっていたものが、思い通りにいかなくなることもあるでしょう。

しかし、そんな時こそ「感謝の気持を持つ」という事は大切になってきます。

子どもがお母さんと離れるのが嫌で泣いていると、「何で泣くの?」「会社に復帰できなくなったらどうしよう…」etc と、いろいろな思いが頭を巡ります。

しかし、生まれて間もない我が子が社会という門をたたいた事(=成長)に感謝することで、見えてくる世界が変わってくるかもしれません。

つい最近まで、お腹の中にいた子です。遠く離れたとしても親の思いは通じるものです。

思い通りに行かなかった時こそ、一呼吸おいて『ありがとう』と言ってみませんか?

きっと、思い通りにいかなかったことも、思った以上になることがあるかもしれません。

先日のニュースで、東京大学の入学式の祝辞の紹介がありました。

『がんばってもそれが公正に報われない社会があなたたちを待っています。そしてがんばったら報われるとあなたがたが思えることそのものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環境のおかげだったこと忘れないようにしてください。あなたたちが今日「がんばったら報われる」と思えるのは、これまであなたたちの周囲の環境が、あなたたちを励まし、背を押し、手を持ってひきあげ、やりとげたことを評価してほめてくれたからこそです』

この言葉のように、当たり前に行われていることも、当たり前ではないことだということをお忘れないことも大切です。思い通りにならないことの原因を並べ、不満を言うのではなく、思い通りにいくために、今出来ることは何かを探して、感謝の気持を持ちながら、努力していきたいものです。

(橋本)

